



各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
 (コード番号 5216)
 問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 柴 田 哲
 電 話 0228 - 32 - 5111

特別損失（減損損失）の計上及び第 2 四半期累計期間の
 業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは平成 28 年度 12 月期第 2 四半期において固定資産の減損処理により特別損失を計上することとなりましたのでお知らせするとともに、平成 28 年 2 月 18 日に公表いたしました平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、第 2 四半期累計期間の実績等を踏まえ、通期業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の概要

当社グループのガラス基板事業及びその他事業における固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、現在の事業環境及び今後の業績見通し等を勘案し将来の回収可能性について検討いたしました。その結果、タブレット端末市場などの低迷により早期の改善が困難であり、回収可能性が乏しいと認められた資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 1,276 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,400	△350	△400	800	49.56
実績値 (B)	1,390	△393	△403	△545	△33.79
増減額 (B-A)	△9	△43	△3	△1,345	—
増減率 (%)	△0.6	—	—	—	—
(ご参考)前年第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	3,156	△156	△176	△211	△13.12

3. 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,700	20	△50	1,100	68.14
今回発表予想 (B)	2,600	△850	△900	△1,000	△61.95
増減額 (B-A)	△1,100	△870	△850	△2,100	—
増減率 (%)	△29.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	5,864	△571	△627	△632	△39.16

4. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,300	△400	2,250	139.39
実績値 (B)	1,303	△412	947	61.15
増減額 (B-A)	3	△12	△1,302	—
増減率 (%)	0.3	—	△57.8	—
(ご参考)前年第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	1,644	△398	△406	△25.15

5. 平成 28 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,500	△30	2,600	161.07
今回発表予想 (B)	2,400	△900	450	27.88
増減額 (B-A)	△1,100	△870	△2,150	—
増減率 (%)	△31.4	—	△82.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	2,914	△979	△203	△12.59

6. 差異及び修正の理由

第 2 四半期累計期間においては、前年下期から受注が大きく低迷し、新たなる領域開拓を進めるものの回復するに至らず、売上が低調に推移しました。また、特別損失（減損損失）の概要に記載のとおり、減損損失 1,276 百万円を認識したことより、親会社株主に帰属する当期純利益は減少いたしました。

これらの結果、第 2 四半期累計期間の連結売上高は前回予想に対し 9 百万円減の 1,390 百万円となりました。また、営業利益は前回予想に対し 43 百万円減の△393 百万円に、経常利益は同 3 百万円減の△403 百万円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は同 1,345 百万円減の△545 百万円となりました。

通期業績予想につきましては、新たな事業領域開拓やコスト低減など事業収益改善を鋭意進めておりますが、タブレット端末市場などの低迷に伴い、計画していた受注が縮小することが予想されます。これを受け、売上高を構成する製品の利益率が相対的に高い加工品が減少し、営業利益が悪化する見込みであります。これらの結果、連結売上高は前回予想に対し 1,100 百万円減の 2,600 百万円に、営業利益は同 870 百万円減の△850 百万円に、経常利益は同 850 百万円減の△900 百万円に、親会社株主に帰属する当期純利益は同 2,050 百万円減の△1,000 百万円に修正いたします。

以 上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。
